独立役員届出書

1. 基本情報

会社名	株式会社ファンケル			コード	4921
提出日	2020/6/1	異動(予定)日	2020/6/20		
独立役員届出書の提出理由	定時株主総会において、社外取締役及び社外監査役の選任議案が付議されるため。				
☐ 独立役員の資格を充たす者を全て独立役員に指定している(※1)					

2. 独立役員・社外役員の独立性に関する事項

番号	氏名	社外取締役/ 社外監査役	独立役員	役員の属性(※2・3)													異動内容	本人の同意	
				a	b	c	d	e	f	g	h	i	j	k	l	該当なし			
1	中久保 満昭	社外取締役	○														○		有
2	橋本 圭一郎	社外取締役	○														○	新任	有
3	松本 章	社外取締役	○														○	新任	有
4	坪井 純子	社外取締役																新任	
5	高野 利雄	社外監査役	○														○		有
6	関 常芳	社外監査役	○															△	有
7	南川 秀樹	社外監査役	○														○		有

3. 独立役員の属性・選任理由の説明

番号	該当状況についての説明(※4)	選任の理由(※5)
1	該当事項はありません。	中久保満昭氏は、弁護士として法律分野に関する豊富な経験と幅広い知見を有しており、専門的な見地から社外取締役としての職務を適切に遂行していただいております。また、関連会社、大株主、主要な取引先の出身者等ではなく、独立性が十分に確保されており、一般株主と利益相反の恐れがないと判断し、独立役員として指定いたしました。
2	該当事項はありません。	橋本圭一郎氏は、金融機関の幹部職や企業経営者としての豊富な経験と幅広い知見を有しており、専門的な見地から社外取締役としての職務を適切に遂行していただけるものと判断しております。また、関連会社、大株主、主要な取引先の出身者等ではなく、独立性が十分に確保されており、一般株主と利益相反の恐れがないと判断し、独立役員として指定いたしました。
3	該当事項はありません。	松本章氏は、公認会計士として、財務・会計に関する専門知識を有し、さらに企業経営者としてコンサルティング業務に携わり、豊富な経験と幅広い知見を有しており、専門的な見地から社外取締役としての職務を適切に遂行していただけるものと判断しております。また、関連会社、大株主、主要な取引先の出身者等ではなく、独立性が十分に確保されており、一般株主と利益相反の恐れがないと判断し、独立役員として指定いたしました。
4		
5	該当事項はありません。	高野利雄氏は、検事及び弁護士としての法律分野に関する専門知識と経験を監査業務に活かし、社外監査役としての職務を適切に遂行していただいております。また、関連会社、大株主、主要な取引先の出身者等ではなく、独立性が十分に確保されており、一般株主と利益相反の恐れがないと判断し、独立役員として指定いたしました。
6	関常芳氏は、2014年6月まで、有限責任監査法人トーマツのパートナーでありました。当社は同監査法人との間に会計に関するコンサルティング等の取引関係があります。	関常芳氏は、公認会計士の資格を有し、長年にわたり監査法人の業務に携わったことによる会計分野に関する豊富な経験と幅広い知見を監査業務に活かし、社外監査役としての職務を適切に遂行していただいております。また、関連会社、大株主、主要な取引先の出身者等ではなく、独立性が十分に確保されており、一般株主と利益相反の恐れがないと判断し、独立役員として指定いたしました。
7	該当事項はありません。	南川秀樹氏は、環境分野に関する豊富な経験と幅広い知見に加え、行政機関等における経験を監査業務に活かし、社外監査役としての職務を適切に遂行していただいております。また、関連会社、大株主、主要な取引先の出身者等ではなく、独立性が十分に確保されており、一般株主と利益相反の恐れがないと判断し、独立役員として指定いたしました。

4. 補足説明

-
- ※1 社外役員のうち、独立役員の資格を充たす者の全員について、独立役員として届け出ている場合には、チェックボックスをチェックしてください。
- ※2 役員の属性についてのチェック項目
- a. 上場会社又はその子会社の業務執行者
 - b. 上場会社又はその子会社の非業務執行取締役又は会計参与（社外監査役の場合）
 - c. 上場会社の親会社の業務執行者又は非業務執行取締役
 - d. 上場会社の親会社の監査役（社外監査役の場合）
 - e. 上場会社の兄弟会社の業務執行者
 - f. 上場会社を主要な取引先とする者又はその業務執行者
 - g. 上場会社の主要な取引先又はその業務執行者
 - h. 上場会社から役員報酬以外に多額の金銭その他の財産を得ているコンサルタント、会計専門家、法律専門家
 - i. 上場会社の主要株主（当該主要株主が法人である場合には、当該法人の業務執行者）
 - j. 上場会社の取引先（f、g及びhのいずれにも該当しないもの）の業務執行者（本人のみ）
 - k. 社外役員の相互就任の関係にある先の業務執行者（本人のみ）
 - l. 上場会社が寄付を行っている先の業務執行者（本人のみ）
- 以上のa～lの各項目の表記は、取引所の規則に規定する項目の文言を省略して記載しているものであることにご留意ください。
- ※3 本人が各項目に「現在・最近」において該当している場合は「○」、「過去」に該当している場合は「△」を表示してください。
近親者が各項目に「現在・最近」において該当している場合は「●」、「過去」に該当している場合は「▲」を表示してください。
- ※4 a～lのいずれかに該当している場合には、その旨（概要）を記載してください。
- ※5 独立役員の選任理由を記載してください。